

交流事業

夏休みに春日井市から子どもたちが来館 実験を通して地球について考える

8月の夏休みを利用して、愛知県春日井市の子どもたちが来館しました。男鹿半島の大地の歴史から日本列島のできかたを考えたり、男鹿市と愛知県の様々なつながりについても学習しました。また液状化現象実験や火山噴火実験を通して大地の動きや防災についても考えました。(写真は子どもたちが地震の際の液状化現象実験を体験している様子)



誘客推進

県外の教員のみなさんが学習センターへ 教育旅行に適したジオパークの魅力を紹介

秋田県が進める県外からの誘客推進活動の1つ。先月は首都圏などの教員のみなさんがジオパーク学習センターに来館しました。当日は、男鹿半島の地層やジオサイト・寒風山について、火山噴火実験を含めて紹介しました。その後、実際に寒風山に出かけ火山活動や大地の歴史について見学しました。



研修会

秋田地学教育学会の巡検 会員が様々な研究成果を紹介

先月、秋田地学教育学会のみなさんやジオパーク関係者などのみなさんが来館し、会員のみなさんが鶴ノ崎海岸の球状炭酸塩コンクリーションや三ノ目瀨の標本、溶岩じわの再現実験についてその研究成果を紹介しました。



自由研究

県内だけでなく、県外からも子どもたちが多数来館 親子でジオパークを生かした研究を深める

夏休み期間にジオパークを生かして何か研究しようという親子が来館者に目立つようになりました。テーマを決めて来館する人や学習センターでテーマを探す人もいます。学習センターでは子どもたちの自由研究を応援しています。



SDGs

様々なテーマで持続可能な地域づくりを考える 海の環境について学習センターでミニ展示

ジオパーク学習センターでは、海の環境についてミニ展示をしています。日本海とマイクロプラスチックごみについて紹介しています。学校教育の総合学習として学ぶ学校もあります。(写真は学習センターの「海の酸性化実験」)

